

# バボ狂老人の大冒険

大森政市

## 序章

アルコール依存症の事をアル中というが、バレエボール依存症の事をバボ中とは言わない。私はここで“バボ狂”という言葉を提案しよう。バボはバレエボールのこと、バボちゃんはバレエボールのマスコットキャラクターとして、既に一般に定着している。バボ狂に暗いイメージはない。とにかくバレエボール観戦が大好きで、これと言った大会なら、国内どこにだって飛んで行く。

ここに一人のバボ狂老人がいる。名は小森市翁、年齢は82歳、住居は山梨県市川三郷町。この物語は彼が、愛するチームの大好きな選手達を追って、地の果て鹿児島県は鹿屋市を訪れ、国体バレエに興じる傍ら、大事件を起こし、人々と触れあい、その地のぬくもりを感じながら大冒険をする経緯を綴った物語である。

## 第1章 強い中銀チーム

市翁の愛するチームとは、山梨中央銀行女子バレエボールチーム（以下“中銀チーム”と呼ぶ）である。このチームは、同銀行の広告塔であるばかりか今や山梨県スポーツ界の象徴的存在になっている。チームは、アテネ五輪代表経験のある辻知恵監督の下、4名のスタッフと12人の選手で構成されている。昨年までの3年間は、新型コロナウイルスの影響で試合は皆無もしくは無観客を余儀なくされていたため、一同切歯扼腕の中で、粛々と練習を積み重ねるしか生きる道はなかった。この時期、選手の出入りが激しく、遂には一新したチームの状態です。2023年5月からの、コロナからの解放の時を迎えた。

元来高校バレエに魅了されたバボ狂となっていた市翁にとって、コロナ期間の中銀チームは、見学を容認してくれた唯一の救世主となっていた。この間高校バレエは、文科省主導の下、全国一律に鉄壁のガードを固めて居た

からである。

2023年4月に強力な新人が入社した。山田葉奈(かんな)、岡本優乃、遠藤葵の3名である。練習見学をしていた市翁は3人のプレーを一見して気がついた。「凄いな！皆出来上がって居る選手ではないか！」これによりチームの力は一層充実した。しかし女性だけの練習では強力チームのパワーに対抗する練習ができない。そこに二人の男性コーチが加わった。秋山、根津コーチ。男性の打つ球は流石に強力だ。監督の緻密な練習に加えコーチ陣の豪球を交えた練習が続き、チームは目を見張るほどの強力なチームになっていった。

強力チームは快進撃を続け、勝利を重ねて行った。その経過を振り返って見よう。

○関東クラブカップ選手権大会：2023.7.8 前橋市 ALSOK ぐんまアリーナ

1 回戦 山梨中央銀行 2-0 埼玉クラブ

準決勝 山梨中央銀行 2-0 SPARK'S

決 勝 山梨中央銀行 2-0 日本大学女子

大会結果：優勝、天皇后杯関東ラウンド出場権獲得

○全日本クラブカップ選手権大会：2023.8、11 和歌山市ビッグホエール

1 回戦 山梨中央銀行 2-0 OGAL

2 回戦 山梨中央銀行 2-0 高知クラブ

準々決勝 山梨中央銀行 2-0 博多 WINNING SPIRITS

準決勝 山梨中央銀行 2-0 和歌山クラブ

決 勝 山梨中央銀行 2-0 CLUB 愛媛

大会結果：優勝 2年連続2回目

市翁はこれらすべての試合を現地観戦した。強い、中銀チームは強い！でも中銀チームはこの辺りに甘んずるチームではない。チームの目標は国体本戦で勝利する事だ。関東ブロック大会にはV2、V1チームが登場してく

る。最員のチームが強くなればなるほど、次の試合が見たくなるのが人情だ。次に予定されている国体関東ブロック大会には、是非とも行かねばならない。場所は埼玉県深谷市、前橋よりはずっと近い。射程距離だ！ 市翁は試合会場に近いホテル AB に宿を取り、この大一番を観戦することにした。

#### ○国体関東ブロック大会：2023.8.26 深谷市総合体育館

1 回戦	山梨中央銀行	群馬グリーンウィングス (V2)
		2 (25-21、25-18) 0
2 回戦	山梨中央銀行	埼玉上尾メディックス (V1)
		0 (20-25、23-25) 2
代表決定戦	山梨中央銀行	日本体育大学 (東京都)
		2 (25-18、25-19) 0

#### 大会結果：2023 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま大会」出場権獲得

国体本戦出場をかけたこの大会、中銀チームの滑り出しは快調だった。

1 回戦 1, 2 セットとも終始リードを保ち、V2 リーグ 2 位の群馬銀行を寄せ付けなかった。快心の勝利だったと言っていいだろう。

2 回戦、V1 リーグ 上位の上尾との試合は接戦だった。当方 2 セットとも 20 点を超える健闘を示したが、遂に相手の得点を上回ることが出来なかった。これは、惜敗の試合だったと言っていいだろう。

代表決定戦は 2 回戦敗者同士の戦い、相手は東京都代表の日本体育大学だった。中銀チームは終始リードを保ち、危なげない勝利を手にした。安心して観ていられる試合だった。

これらの結果から見ると、中銀チームは、V2 リーグ、学生リーグのトップに位置し、V1 リーグのチームには今一步の位置にあることを伺わせた。中銀応援団は、先代の頭取を筆頭にバスを仕立てて応援に当たった中で、選手たちは存分に闘い、本戦出場の権利を勝ち取り、期待に応えた。

## 第 2 章 遠征準備

山梨の自宅に戻った市翁は翌日早朝から、鹿児島行きを検討した。

鹿児島に行くか否かは最初から論外だった。なぜなら、練習を重ね、強さを増したチームの魅力と、練達した選手たちの妙技見たさが、市翁の心の中で、ネガティブ志向を一掃していたからだ。さらに4年前、増穂商業チームに魅せられて、宮崎県都城市開催のインターハイに行ったことがある。その時は、現中銀チームのアイドル小澤茉奈がキャプテンを務め、勝利を重ね、ベスト16入りの感動を味わった思い出がある。鹿児島は国内、近いぞ！

ここからが悪戦苦闘の冒険物語になるのだが、神ならぬ市翁には先のこと全く知る由もなかった。開催日程は？ 開催地、会場はどこか？ 行き方は空路か新幹線か、開催地での交通手段はどうするか？ 会場近くに宿舎確保は出来るのか？

これらの問題解決のため、市翁は終日パソコンと格闘した。頭と体力を使うから健康に良く長寿に繋がると思っている。

開催日程は10月8, 9, 10日。7日に現地入りする必要があるが、6日、7日の両日は、代々木体育館でのワールドカップ男子バレーの観戦が予定されている。このため3か月前にチケットを確保し、友人を誘っている。

開催地は鹿屋市、大隅半島の中部に位置する。人口約10万人。アクセスは「鹿屋市アクセスマップ」で調べた。高速道路利用で鹿児島市から120分、鹿児島空港から100分、都城から100分。鉄道は全くない。会場は鹿屋市平和公園申良平和アリーナ、市の中心部からは車で約30分。

これらの条件を満足させる解は、10月7日に空路鹿児島空港に入り、空港にてレンタカーを調達、会場により近い宿舎を3泊分確保する事が必須であるとの結論に達した。

旅行日程の作成。市翁の冒険はここから始まる。まずは航空便の確保だ。スポーツイベントのチケット確保は慣れているが、航空便の自力確保は初めてだ。パソコンネットで格安便を探す。出発羽田空港→到着鹿児島空港、出発日10月7日を入力する。候補便が続々と表示される。驚いたことに候補便は、航空会社、出発日、出発時刻などにより価格が数万円レベルで変動する。お気に入りの便が表示されると素早くクリックする必要がある。市翁は許容価格のソラシド航空便を往復分ゲットした。合計37180円也。折り返

しパソコンメールに予約確定の通知が入る。セブンイレブんで翌日代金を振込む。同日パソコンに入金確認のメールが入る。便名も表示されている。当日30分前までに羽田空港の当社カウンターにおいて下さい、但し本人確認が出来るものを持参してくださいと書いてある。これがチケットの代りになる。チケットレス予約制だ。市翁は不安を隠せない。スポーツ予約はチケットが手元に入るからだ。

次はレンタカーの確保だ。トヨタレンタカー鹿兒島空港店。店舗数が多く、保有車数も多いので選んだ。幸運にも最後の1台が残っていた。ヴィッツ1000cc、但し嫌いな喫煙車、が予約出来た。4日間で26400円也。

最後はホテルの確保だ。これには難航を極めた。鹿屋市内のホテルはいずれも満杯で何としても確保できないのだ。全国から集まる国体選手団と役員、その応援団でホテルが取り合いになっているからだ。思案投げ首の果て、瞬間的に閃いたのは錦江湾サウスホテルだ。3泊4日、一発で確保できた。ただし鹿屋市中心部の南、車で1時間ほどかかる。その女主人が言う。

「大会までまだ1か月以上があるのですから、時間をかけて会場近くを探してはいかがですか？」

この言葉は鹿兒島の方の最初の温情だった。市翁は、宿泊場所が確保できた安心感があったのだが、大きな不安が残っていた。特に、往復時の空港との所要時間である。慣れない自分には最低3時間はかかるだろう。飛行機の発着時刻からみて、往時ホテル到着は24時、復時の出発は深夜4時ごろとなるろう。鹿屋市中心部にホテルが見つかったのはそれから半月ほど後のことだった。10月7日は普通のホテル、8、9日はカプセルホテル。好位置に確保できれば、寝られるだけでいい。市翁は先に確保しておいたユースホテルの女主人に、キャンセルの連絡を入れ、丁寧に謝辞を述べた。8月29日、これで鹿兒島行き条件は全て整った。市翁は複雑な日程を次表の通り整理した。

国体バレー鹿児島鹿屋市行き日程表

日数	月 日	時刻		適用
1	10・6 金		発甲斐岩間 着甲府 発甲府 着代々木	Wcup男子バレー 国立代々木体育館 泊：
2	10・7 土	10:00 10:00 15:00 17:00 18:00 19:50 22:00	着代々木 発代々木 着羽田 発羽田空港 着鹿児島空港 着鹿屋市	国立代々木体育館  ソラシド航空 SNA079 03-6634-0089 トヨタレンタカー：0995-58-2306 禁煙コンパクトカー 泊ホテルこばやし0994-44-3711
3	10・8 日	8:30 9:30 17:00 18:00	発ホテル 着アリーナ 発アリーナ 着ホテル	鹿屋市平和公園串良平和アリーナ 国体バレー観戦 0994-31-4500 夕食 泊：HOTEL AND HOSTEL HARU 0994-36-8008
4	10・9 月	8:30 9:30 17:00 19:00	発ホテル 着アリーナ 発アリーナ 着ホテル	国体バレー観戦 夕食 泊：HOTEL AND HOSTEL HARU 0994-36-8008
5	10・10 火	7:00 9:00 9:55 11:40	発ホテル 着鹿児島空港 発鹿児島空港 着羽田空港	

9月17日パソコン検索により、国体本戦の相手を把握した。本戦は都道府県単位の戦いになるので、ここからは県代表とその母体の二重標記にしていくことにしよう。

1回戦：山形県（アランマール山形）昨シーズンV2リーグでダントツ優

勝、入れ替え戦でヴィクトリーナ姫路を破り V1 リーグに昇格

2 回戦：滋賀県（V1 リーグ上位の東レ＋学生選抜）または鹿児島県（元全日本で V1 上尾に在籍した内瀬戸を主将とし、V1 選手 4 人＋鹿屋体育大学生の混成チーム）

9 月 19 日午後、中銀体育館に赴き、2 時間ほど練習風景を観て楽しみながら、秋山コーチと言葉を交わした。

「対戦相手が決まりましたね。1、2 回戦とも V1 チーム、強いですね」

「全体を見てもみんな V リーガー、そうでないのはうちだけです。でも勝機はあると思いますよ。」 また、小澤茉奈や平岡みさと選手に、

「鹿児島行きの日程決まったよ。早く行こうよ」と冗談を飛ばした。

### 第 3 章 事件勃発、そして救援

10 月 7 日、国立代々木体育館で、外国同士の対戦 2 試合のワールドカップ男子バレーを観戦、同夜開催予定の日本対スロベニアの試合に後ろ髪を引かれながら、15:00 代々木、品川經由京浜急行線で羽田空港に向かった。所要時間約 1 時間は予想通りだったが、空港ビル最遠端にあるソラシド航空カウンターを探しながら到着するまでに 1 時間を要した。同航空会社カウンターで運転免許証を提示すると。係員がパソコンで予約確認し、搭乗券が手渡された。市翁はこれでやっと安心し、保険加入を申し出た。係員曰く「今は国内便には保険制度はありません。何のためのご加入ですか？」

「飛行機が万一墜落した場合の保険です。昔御巢鷹山で日航機が墜落したでしょ？」

「飛行機は墜落しません。だから保険制度はないのです。国際便には盗難などを含めた制度がありますが…。」

成程電車では、保険はかけないな、今は飛行機も電車同様安全になったということか！ 市翁は十分納得しえないままに、古い人間を知覚させられた。

18:00 始動、暫時待機の後 174 人乗りのジェット機は離陸し、極めて順調の中に飛行時間 1 時間 20 分で鹿児島空港に到着した。

空港には、トヨタレンタカー社の送迎バスが待機しており、数人を乗せて事務所まで案内した。借用手続きの終わりに係員が聞いた。

「通常の保険はすでに加入して頂いていますますが、非常時のオプションはいかがされますか？」市翁は先を急ぐ気持ちのあまり何気なく、「何でもいいから全部加入としてくれ」と答え、トヨタヴィッツ 1000 cc のアクセルを踏んだ。時刻は 20:30、生憎の土砂降り雨が降っていた。

市翁が鹿児島県にきたのは 60 有余年ぶりである。学生時代宮崎県の日南海岸を経て、電車で鹿児島市内に入った記憶はあるが、年を経た今では県内の地名はおろか、大隅半島鹿屋市に至る周辺の交通体系も地名も全く知らない。ただ、高速道路は空港から鹿屋市まで通じていることは調べておいた。カーナビをセットすれば、その誘導によって容易に目的地まで到着できるものと信じ、その日宿泊するホテル小林の電話番号を入力し、近接した入り口から高速道路に入った。初めて乗る車の加速度は日ごろ載っているダイハツ ジェット 660 cc の比ではない。少しアクセルを踏むとぐいぐいと加速する。慎重に速度調節しながら、まずは車に慣れることに専念した。ハンドルの遊びが極めて少ない。寸刻の油断をすると即時方向が変わる。ナビの指示に従って慎重な運転で南下し加治木ジャンクションで左折、鹿屋方面に進んだ。そこからはナビの指示に従ってひたすら進むのみだ。出口がいくつか表示されたが、地理不明のためいづれも無視し、ナビの案内に従おうとするのだが、雨音のため案内の音が聞こえない。画面の矢印に従うのみだ。

2 時間ほど運転した辺りに料金所があり、ここで東九州自動車道を降りた。係員が教えてくれた。

「この先無料の高速道路が続きますが、途中山崩れで土砂が堆積し通行不能の箇所があります。そこから一般道を迂回し再度高速道路に入って頂きます。」と言い、手書きの地図のコピーを渡してくれた。しかし地図は雨に濡れ、暗闇の中ではよく読み取れない。

カーブが多く上り下りの多い一般道路をしばらく走った。そして高速道路に再び入った。片側 1 車線の高速道路、一般道と見分けがつかないほどのみすばらしい高速道路、左右に金網のフェンスが続いている。鹿屋市という標識が出て来るようになった。市翁は確りとハンドルを握り、速度を落としたが、慎重に走った。対向車が来る。ライトが顔面を直射する。窓を開けて



何かこちらに向けて叫んでいる。再度、再再度この繰り返しが続いた。左側に車を寄せて停車し、何度か対向車をやり過ごした。何か変だ。変だぞぞ！？

市翁は自分が高速道路を逆走していることに気づいた。しまった、俺としたことが！ 技術の粋を集めたカーナビも市翁に無料高速道路の入り口についての的確な指示が出せなかったのだ。「Uターンして元に戻り、正しい入り口から入り直そう」などという考えは毛頭沸いてこなかった。市翁は出口を求めて懸命に走った。しかし出口は一向に見当たらない。雨で路面が光り、水たまりで道路の構造が良く分からない。ハンドルの切れが鋭いため、何度か左前輪を縁石でこすり、乗上げもした。前輪がパンクしたな！それに気づいたのはしばらく走ってからだだった。目的地まで15km。ナビの表示を確認した地点だ。困った、本当に困った！ こんな遠い異郷の地で、俺とされたことが！ 市翁は切歯扼腕した。車の運転が不能になって途方に暮れている時、前方からサイレンの音が鳴り響き、2人の若い警官が乗ったパトカーが、続いて他の1台に乗った警官2人が到着した。誰かが警察に通報したのだ。市翁は厳しく叱責され、行政処分を受けることも覚悟した。

「どうぞそのまま車の中において下さい。」というや一人の警官が反対側のドアを開けて車中に入ってきた。雨の中だと調書も取れないからだ。

「大変でしたね。無事でよかったです。どこからこの道に入られたのですか？」

いかにも老人をいたわるような口調で若い警官は市翁に尋ねた。

「どうやら迂回道路を過ぎて再度高速道路に入った辺りからです。」

市翁はその後の経緯をつぶさに話した。警官はメモを取り終わると、

「前輪がパンクしたまま走ったからか、タイヤがはずたにちぎれていますね。これでは走行できません。レッカー車を呼びましょう。ご自身は足が無くなるのでタクシーを呼ぶしかありませんね。お金はお持ちですか？ この際出費はやむをえませんね」と語り掛け、両車の手配をしてくれた。

旅先で不慮の事件を起こし、途方に暮れていた市翁は、地獄で仏とはこのことかと心から思った。レンタカーは、20分ほどして到着したレッカー車に引き取られ、市翁も間もなく到着したクシードで無事ホテルに到着した。時刻は24:20頃であったが、予め状況連絡をしておいたので、主人は寝ずに待っていてくれた。市翁はこの夜見せてくれた鹿屋市警察署の警察官の温情溢れ

る対応に理想の警察官の姿を見るとともに、鹿屋市に対する愛情がこみあげてくるのを感じた。

#### 第4章 夢破れて

翌10月8日8:30、タクシーにてトヨタレンタカー鹿屋店に赴き、昨夜の事情を話し、新規のレンタカーを借用、その足で国体会場串良平和アリーナに向かった。第4駐車場から冷たい雨の中、傘をさし500mほどを歩き、9:30アリーナに到着した。折しも第一試合が始まるどころだった。市翁は遠方からの遠征に加え昨夜の事件を克服し、定時に会場に臨めたことを誇りに思った。大会参加者はブロック予選を突破した全16都道府県チーム、208名の監督・選手団だった。お目当ての山梨県チーム（中銀）は特1コート第2試合、相手は山形県チーム（V1アランマーレ山形）、試合開始時刻は11:30だった。戦果のスコアを見ながら試合の様子を辿って見よう。

山梨県	0	$\left[ \begin{array}{l} 17 - 25 \\ 21 - 25 \\ 18 - 25 \end{array} \right]$	3	山形県
-----	---	---	---	-----

○我が軍が先行リードできたのは第3セット8-6までだけ。しかしすぐには追いつかれ追い越された。それ以外は結局3セットとも常にリードを許し、最後まで追いつけなかった。

○第1セットサービスミス4本で相手にポイントをプレゼントしたのは大きかった。出だしに緊張が見られ、プレーが委縮していた。

○小澤、平岡など選手たちは力いっぱいのはスパイクを打つが、相手ブロックと堅守の前に拾い捲られ反撃されてしまった。遠藤のトスワークと山田の速攻型スパイクは目を見張るものがあった。

○サーブの強さと正確さは相手が明らかに上回っていたが、レシーブミスはほとんどなかった。

○選手たちは力の限り戦った。練習の成果も随所に発揮されていた。しかし試合は完敗だったと言っていただろう。敗因は相手のブロック力、パワー、スピードなど、総合力が上回っていたからだと思う。得点比が力の差を

如実に表していると思う。56/75=0.75、すなわちこちらの力は相手の75%だったと言えるのではないか。

2階に上がってきた選手たちを、応援団は拍手で迎えた。その健闘を讃えて。選手たちの顔は汗と涙でくしゃくしゃだった。今はただ、「国体第一戦勝利」の夢破れて、悔しさの多きが心を占めているだろう。しかし市翁の心は全く違う。満足だった。鹿児島まで来てよかった。選手たちの健闘を目撃することが出来た。万全の備えで強者に立ち向かい、ベストを尽くし散る花の美しさも目撃した。まだまだ明日がある。選手たちよ、大好きなバレ一ボールをとことん極めようではないか。私も大好きなバレ一と、大好きなチームの皆さんをとことん追いかけて、長寿を全うするよう努めて行きます。市翁は心の奥で、こう叫んだのだった。

全国の精鋭208名に伍して健闘し、感動をくれたチームメンバーの名前を記録に残しておこう。

山梨県チーム（山梨中央銀行）

監督：辻知恵

選手：1 山田栞奈 2 小澤茉奈 3 姫野来実 4 遠藤さやか  
5 平岡みさと 6 黒岩かのん 7 岩間響 8 岡本優乃  
9 渡邊妃貴 10 河井楓佳 11 遠藤葵 12 中村好花

### 終章

最後に市翁が体験した鹿屋市の人々との心のふれあいについて記そう。

- 特産品販売コーナーでの井上、田尻さん：「そう、あの高速道路は私達でも間違いやすいのです。だから無料でも普段使わないようにしています」
- 婦人団体が振舞ってくれた、地元産品使用の「カンパチ天井」、「野菜と小エビのかき揚げ」は、歓迎の気持ちがかもった絶品でした！
- 鹿屋警察署の位置を教えてくれたホテルハルの美人ゆきさん：お陰で署長様に一昨夜の事件の際の救援と温かい対応に感謝の気持ちを伝えることが出来ました。なぜか、罰金も免れました。住所、電話番号を記した「ゆきで一す♡」のメモは今後に繋がりますよ！（了）